

世界の異常天候とその影響評価 (20)

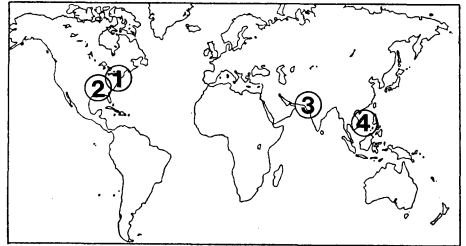
(Climate Impact Assessment, September, 1985)

1. 合衆国のメキシコ湾沿岸—ハリケーン

8月末から9月初めにかけて、今年初の大型ハリケーンである Elena がメキシコ湾沿岸を3日間にわたって襲い、9月2日には地滑りが発生した。ミシシッピ州のガルフポート付近では200 km/時(約56m/秒)の強風に見舞われた。多くの地点では3日間の降水量は100 mmを越え、フロリダ州のアパチコラでは300 mmに達した。試算によれば被害額は10億ドルを越えており、しかもこの内には住民の避難に要した費用や週末の収入の損失は含まれていない。

2. 合衆国の大西洋沿岸—ハリケーン

9月26日と27日には、もう1つの大型ハリケーンである Gloria が、ノースカロライナ州からメイン州に至る東部海岸地方を襲った。Gloria は27日早朝にノースカロライナ州のハッテラス岬を通過し、195 km/時(約54 m/秒)の最大瞬間風速を記録した。この日遅くには、ハリケーンの眼がニューヨーク州のメリック(ロングアイランド島西部)とコネチカット州ブリッジポートを通過し、通過に先だって、140~150 km/時(約39~42m/秒)の最大瞬間風速を記録した。その後、Gloria は前線に吸収され、28日にはノバスコシア方面の海上に去った。ハリケーンの移動が速く、しかも、中心の大部分が海上にあったので、かろうじて大被害はまぬがれた。被害額は2億1千万ドルを越えると見られており、そのうち1億ドル以上がロングアイランド島とコネチカット州における被害によるものである。避難要請に対する行政機関の対応が適切であったため、死者は16人だけであった。一



方、コネチカット州以北のニューイングランド地方では Gloria のもたらした雨によって河川流量が増加し、貯水池の水位が上昇し、土壌水分が増加した。

3. パキスタン、インド—干天

夏のモンスーンの終了が例年より早かったため、インドの中・南部では干天となっており、農作物が被害を受け、貯水池の水位が低くなった。パキスタン北部とインド北西部では、モンスーンの雨が非常に少なかったので水供給が減少し、冬小麦の種蒔きのための土壌水分が少なくなっている。

4. 東南アジア—干天

タイとフィリピンのルソン島中部では干天が続き、状況が悪化した。このため、主要作物である米が潜在的な被害を受けている。

注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している。
(気候変動対策室 真野裕三)

月例会「レーダー気象」のお知らせ

日 時：昭和60年12月6日(金) 13:15~17:00

会 場：気象庁第1会議室(5階)

講演題目

1. 建設省におけるレーダー雨量計の技術現況について
吉野文雄(建設省土木研)
2. レーダーとアメダスを用いた降水量分布の解析
高瀬邦夫(気象庁予報課)

3. 高速3次元ドップラーレーダーの紹介と観測例
遠藤辰雄・藤吉康志・若浜五郎(北大低温研)
4. 単一ドップラーレーダーによる風ベクトルの解析
藤吉康志・坪木和久・遠藤辰雄(北大低温研)
5. 2台のドップラーレーダーによる台風8514号の降雨帯の観測

田畑 明(気象庁気象研)